学校番号	T0207

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅱ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	情Ⅱ７０２「情報Ⅱ」（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械（パソコンやスマートフォンなど）に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習、プレゼンテーションソフトを使った発表等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
・プログラミング言語を学習することにより、いろいろな考え方や最適解への取り組み方を学びましょう。
・情報技術の基礎・基本的な技能に加え、応用的な内容を身に付ける。

2　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
（2）様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
（3）情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，技能を身に付けているとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	″事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	″情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	データサイエンス	1　データサイエンスと社会 2　データの収集 3　データの整理と変換 4　データの分析と可視化 5　統計的推測 6　機械学習の概要	a:データ，情報，知識の意味と相互の関係について説明することができる。 b:データの特性を活用した事例と，データの特性によって作成するグラフ等の可視化ツールを選択し、表現することができる。 c:自らのデータ活用について振り返り，改善方法しようとしている。データサイエンス等の情報技術を社会の問題解決に役立てる方法を提案することができる。	問題 演習	実技 課題	実習
後期	プログラミング言語	2　Python の基礎 3　Python のモジュール	a:プログラミング言語「Python」の基礎知識や扱い方を説明することができる。簡単なコードを書き、正しく実行されることを確認することができる。 b:目的に沿って，「Python」でプログラミングを書き、目的に応じたプログラムを組むことができる。 c:実際に利用しているプログラミング構成について自ら調べ，問題を指摘して改善につなげようとしている。	問題 演習	実技 課題	実習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度